

あなたの未来を強くする



住友生命は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

第15回

未来を

強くする

子育て

あなたの近くで、
スミセイは
子育て支援を続けています。

ただいま募集中！

2021年
9月10日(金)
締切り

未来を強くする子育てプロジェクト

検索



プロジェクト



子育て支援活動の表彰

対象：地域において子育て環境づくりに取り組む団体や個人

大賞

100
万円

- ▶ 文部科学大臣賞 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
- ▶ 厚生労働大臣賞 表彰状(スミセイ未来大賞から1組)
- ▶ スミセイ未来大賞 表彰盾、副賞100万円(2組程度)
- ▶ スミセイ未来賞 表彰盾、副賞50万円(10組程度)

女性研究者への支援

対象：子育てと人文・社会科学分野の研究活動の両立に努力されている女性研究者

最大

200
万円

- ▶ スミセイ女性研究者奨励賞
助成金として1年間に100万円(上限)を
2年間まで支給(10名程度)

宛先・
お問合せ先



第15回
未来を強くする
子育てプロジェクト

「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-7 光ビル
電話：03-3265-2283
(平日10:00~17:30)

主催：住友生命保険相互会社
後援：文部科学省 厚生労働省



お届けしたのは



2021年6月
ソーシャルコミュニケーション室
作成

子育て支援活動の表彰

より良い子育て環境づくりに取り組む団体や個人を表彰します。

表 彰

- ◎文部科学大臣賞／表彰状（スミセイ未来大賞から1組）
- ◎厚生労働大臣賞／表彰状（スミセイ未来大賞から1組）
- ◎スミセイ未来大賞／表彰盾、副賞100万円（2組程度）
- ◎スミセイ未来賞／表彰盾、副賞50万円（10組程度）

応募方法

「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイトで募集要項をご確認のうえ、応募用紙をダウンロード・ご記入いただき、必要資料と一緒に送ってください。

必要資料

- ① 応募用紙（webサイトよりダウンロード）
- ② 活動の様子がわかる写真
- ③ その他の活動内容がわかる資料（パンフレットなど）



女性研究者への支援

子育てと人文・社会科学分野の研究活動の両立に努力されている女性研究者を支援します。

表 彰

- ◎スミセイ女性研究者奨励賞 10名程度

助成金として1年間に100万円（上限）を2年間まで支給します。
助成期間は2022年4月から2024年3月までの2年間の予定です。

応募方法

「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイトで、募集要項をご確認のうえ、応募用紙をダウンロード・ご記入いただき、必要資料と一緒に送ってください。

必要資料

- ① 応募用紙（webサイトよりダウンロード）
 - ② 最近の論文など、1、2点
- ※資料の点数は審査の対象になりません。
資料類は角2版封筒（A4版が入る大きさ）に入る程度の量とします。



募集期間、選考などについて

募集期間 2021年7月12日（月）～2021年9月10日（金）必着

選 考 事務局による選考の後、「未来を強くする子育てプロジェクト」選考委員による選考会を経て、受賞者を決定します。

発 表 受賞者は、2022年2月に都内で実施予定の表彰式*および「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイト等で発表します。
受賞者には2022年1月末までに直接ご連絡します。

※表彰式は、新型コロナウイルスの収束状況によっては、実施内容を変更する可能性があります。

受賞団体・受賞者のご紹介

第14回（2020年）

〔子育て支援活動の表彰〕
文部科学大臣賞



認定特定非営利活動法人
高知こどもの図書館
高知県高知市

NPO法人が設立し運営する子どものための私設図書館

「高知こどもの図書館」は、子どものための私設図書館です。読み継がれてきた名作などを丁寧に選書し、貸し出しています。本の貸し出しだけでなく、読み聞かせイベントやボランティアの養成など、人と本、人と人をつなげていく活動も大切にしています。

第14回（2020年）

〔子育て支援活動の表彰〕
厚生労働大臣賞



特定非営利活動法人
西成チャイルド・ケア・センター 大阪府大阪市

子ども食堂を通じて親子の居場所を作り、見守り続ける世の中には、生活が困窮している家庭や、家庭や学校に居場所がない子どもたちがいます。「西成チャイルド・ケア・センター」では、子ども食堂を中心とした居場所を開設し、大阪市西成区を拠点に、親子を対象とした寄り添い、見守り活動を展開しています。

第11回（2017年）

〔スミセイ女性研究者奨励賞〕



白幡 真紀
仙台大学体育学部・教授

受賞以前は、今後研究を続けていけるのか、心の折れない日はありませんでした。応募した大学や研究機関は数えきれず、本助成も1回で受賞したわけではありません。
受賞により、より挑戦的な主題にも取り組み、研究領域も広がりました。苦しみながらも、日々続けてきたことが、現在の研究生活につながっていると思います。

個人情報の取扱い

応募者の個人情報は、審査および運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。
応募者の同意なく、利用目的の範囲を越えて利用することはありません。